

建設産業情報（最近の動向）

在外公館名 在サウジアラビア日本国大使館

記入日 2015年4月19日

1. 現地の建設・不動産市場に係る経済情報
特になし
2. 建設業制度、入札契約制度、不動産業制度の改正動向
特になし

3. 報道情報

末尾記載リストに関係する記事について幅広に情報提供をお願いします。

	タイトル、概要	日付/掲載紙
1	海水淡水化公団(SWCC)は2020年までに9つの淡水化プラントを建設し、3百万m ³ /日の造水能力を確保する計画である。最大案件はJubail 3プラントの150万m ³ 。SWCCではさらに2025年から2030年にかけて460万m ³ のプラント建設を視野に入れている。	2日 MEED
2	最近の研究では、サウジでは今後15年間、毎年30万棟の住宅が必要になる。リヤドでは手ごろな価格の住宅が特に求められており、22.5万棟不足している。	3日 アラブニュース
3	アブドゥラー・ベルハイフ・アル＝ナイミ UAE 連邦運輸庁 (FTA) 長官は、湾岸6か国をつなぐGCC鉄道の完成は2020年まで延期されると述べた。当初完成は2018年であったが、締め切りに間に合わない国が複数ある。	5日 サウジガゼット
4	不動産の専門家によると、サウジ人が3ベッドルーム(175m ²)のアパートを購入するために住宅省から貸し付けられる金額(50万SR)は、リヤド、ジッダ、ダンマンで購入するには十分だが、マッカでアパートを購入するには不十分で、15万から20万SR増額する必要があると述べた。	6日 アラブニュース
5	ジッダ居住者は、住宅省の建設事業の遅れを批判した。南北事業では約58,000人を居住させるため約1万棟の住宅が建設を予定されており、事業費は約7,500万SRとなっている。	7日 アラブニュース

6	観光情報研究センター (MAS) は、766,300 人のサウジ人が中間休暇中 (1 月 15 日~24 日) に海外に行き、28 億 SR (平均 3,611SR/人) 消費したと発表した。行先はバーレーンが 1 位で 210,000 人、次いでクウェートが 94,000 人、UAE が 87,000 人であった。	9 日 アラブニュース
7	サウジでは現在数百億 SR 規模の事業がいくつも進行中であり、世界で最も建設業が盛んな国のうちの一つである。最も大きな事業としてキング・アブドゥラー経済都市 (2007 年着工 2024 年完工予定、総事業費 3,750 億 SR) があるほか、ハラマイン鉄道 (2016 年完工予定、総事業費 460 億 SR) や、ジッダのキング・アブドゥルアジーズ国際空港 (2006 年着工 2035 年完工予定) が挙げられる。2020 年までにサウジで始まる開発事業の総事業費は 11.25 兆 SR (3 兆\$) を超え、投資額も少なくとも 1.5 兆 SR (4,000 億\$) 上昇するとみられている。	12 日 アラブニュース
8	サルマン国王は Al Duwaihi 住宅相を更迭し後任に Essam bin Saeed を任命した。国王は前日の所信表明演説で住宅不足を解消するため建設をスピードアップしなければならないと語ったばかりである。失業問題、汚職問題とともに住宅の不足を非難する市民の声が高まっている。	13 日 Khaleej Times
9	ムハンマド・ビン・ハーリド・アル=スワイク・サウジアラビア鉄道公社 (SRO) 総裁は、サウジアラビア鉄道基本計画をアップデートするためのコンサルティング・サービス業務を Dornier Consulting GmbH に委託した。契約額は 284 万 SR で契約期間は 6 ヶ月である。アップデートの主目的は、より安全で快適な鉄道網の見通しを明確にし、鉄道事業の長期発展を目指すことである。	19 日 アラブニュース
10	サウジでは、安くて環境に優しい住宅の建築が進められている。	22 日 アラブニュース
11	ジッダの多くの地区で給水されない日が数日間続いており、居住者にとって深刻な問題になっている。水不足によって毎日の生活に混乱が生じ、ジッダの居住者は疲弊している。	23 日 アラブニュース
12	月曜日 (23 日) の閣議で、都市部の空き地に課税することが決定した。これは、住宅問題を迅速に解決するための一案となされた決定である。本件は、法的手続きを済ませる為に諮問評議会にかけられる。	24 日 アラブニュース
13	経済と不動産の専門家は、経済・発展事項評議会が提案し、月曜日 (23 日) に閣議決定された新規則によって、不動産価格が低下し住民はお金を節約できるだろうと述べた。	25 日 アラブニュース

14	サウジ全土で最近降った大雨により洪水が発生し、11人が亡くなった。	27日 サウジガゼット
----	-----------------------------------	----------------

4. その他我が国の建設産業界にとって参考となりうる最近の動向（報道情報以外）

(投資)	
17日	ムクリン皇太子は、当地訪問中の Gau Hucheng 中国商業大臣と月曜日（16日）に面談し、サウジと中国の関係をより強化したいと述べた。マンスール・ビン・ムクリン皇太子顧問、イブラヒム・アル＝アッサーフ財務大臣、およびアブドゥルアジズ・アル＝ハワス皇太子個人秘書も同席した。両国の交易は 2,674 億 SR（サウジ→中国：1,890 億、中国→サウジ：784 億）に達している。（ア紙）
(サウジ労働事情)	
1日	従業員数が 500 人未満の企業は女性が働く労働環境が労働省の定める基準に適合していない。第 1 期および第 2 期 Nitaqat プログラムによるサウジ人化比率をかるうじて達成した中小企業の場合、優秀なサウジ人男性の確保に苦勞しているが、専門家は女性の採用を検討すべきであると指摘している。（ア紙）
6日	2014 年 10 月 25 日から 4 ヶ月で、20 万人以上の違法滞在者が強制送還された。（ア紙）
17日	労働省は行き詰った建設工事プロジェクトの外国人労働者が新たな工事引受業者に移籍するスポンサーシップ変更に関するメカニズムを公表した。当局は旧業者の同意なしに労働者を移籍させることができ、移籍先の労働条件は以前を下回らない。新業者が移籍を必要としない場合は旧業者の費用で帰国させる。（サ紙）
※ア紙：アラブニュース、サ紙：サウジガゼット	